

大政翼賛會

證據書類 四五一番

167

拔萃

大政翼賛會附屬團體

大日本翼賛青年團

大日本婦人會

大日本産業報國會

大日本勞務報國會

農業報國聯盟

商業報國會

日本海運報國團

大日本青少年團

大政翼賛會諸規程

昭和十八年十一月

一 大政翼賛會實踐要綱

今や世界、歴史的轉換期ニ直面シ、八紘一宇、顯現ヲ國是トスル
皇國ハ、一億一心全能力ヲ舉ゲテ天皇ニ歸シ奉リ、物心一如ノ國家
體制ヲ確立シ、以テ光輝アル世界ノ道義的指導者ヲラントス

茲二本會ハ、互助相誠、皇國臣民タル、自覺ニ徹シ、率先テ國民、
進力トナリ、ツボニ政府ト表裏一體協力、關係ニ立チ、上意下達、
下情上通ヲ圖リ、以テ高度國防國家體制、實現ニ努ム。左ニシテ、
實踐要綱ヲ提唱ス。

一、正道實踐ニ挺身ス。即チ、無上絕對普遍的真理、發現ヲ
國體ヲ信仰シ、歷代詔勅ヲ奉體シ、職分奉公、誠ヲイタシ
ニタスヲ惟神ノ大道ヲ顯揚ス。

二、大東亞共榮圈ノ建設ニ協力ス。即チ、大東亞、共榮體制ヲ完備シ、
興隆ヲ圖ルトモニ、進ンデ世界新秩序ノ確立ニ努ム。

三、翼賛政治體制ノ建設ニ協力ス。即チ、經濟・文化・生活ヲ翼
賛精神ニ歸一シ、強力ナル綜合的翼賛政治體制ノ確立ニ
努ム。

四、^{經濟}翼賛經濟體制ノ建設ニ協力ス。即チ、創意ト能力ト科學
ヲ取高度ニ發揮シ、翼賛精神ニ基テ綜合的計畫經濟ヲ
確立シ、以テ生産ノ飛躍的増進ヲ圖リ、大東亞ニ於ケル自
給自足ノ完成ニ努ム。

五、文化新體制ノ建設ニ協力ス。即チ、國體精神ニ基テ雄渾
高雅・明朗ニシテ科學性アル新日本文化ヲ育成シ、内ハ
民族精神ヲ振起シ、外ハ大東亞文化ノ昂揚ニ努ム。

六、生活新體制ノ建設ニ協力ス。即チ、翼賛理念ニ基テ
新時代ヲ推進スル理想ト氣魄ヲ養ヒ、忠孝一本、國民光

ク一家族ノ成員トシテ 國家理想ニ結集スベキ科學性ナル
生活體制ノ樹立ニ努ム

二 大政翼賛運動規約 (昭和十八年七月一日改正
昭和十八年十月五日改正
昭和十八年十一月三日改正)

第一條 本運動ハ全國民ノ運動ニシテ之ヲ大政翼賛運動ト稱
ス

第二條 本運動ハ萬民翼賛、一體一心、職分奉公ノ國民組織ヲ
確立シ其ノ運用ヲ圓滑ナラシメ以テ臣道實踐體制ノ實現
ヲ期スルヲ以テ目的トス

第三條 本運動ヲ推進スル機關トシテ大政翼賛會ヲ置ク

第四條 本會ノ構成員ハ本運動ノ精神ヲ體得ノ煥發之ヲ
實踐ニ當ル者ノ中ヨリ總裁之ヲ指名ス

第五條 本會ニテ、役員ヲ置ク

- 總裁 一名
- 副總裁 一名
- 顧問 若干名
- 總務 若干名

總裁ハ内閣總理大臣、職ニ在ル者ニ當ル

副總裁 顧問及總務ハ總裁之ヲ指名ス

總務ノ任期ハ一年トス但シ再指名ヲ妨ゲズ

第六條 總裁ハ本會ヲ統率シ本運動ヲ總理ス

第七條 副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事故アルトキハ其ノ
職務ヲ代理ス

第八條 顧問ハ總裁ノ諮問ニ應ズ

第十一條 總務、本會、是、勸、一、參、置、ス

第十二條 本會、中央本部ヲ東京ニ置ク

第十三條 中央本部ニ事務局及興業總本部ヲ置ク

興業總本部ニ關シ、四年ノ事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 事務局ニ事務總長一名ヲ置ク、中央本部ニ於テハ事務、
總理ス

第十五條 事務局ニ事務總長一名ヲ置ク

事務總長ハ局長ニ參置ス

第十六條 事務局、事務ヲ分掌シ、シテハ局長ヲ置ク

局長ニ局長ヲ置ク

第十七條 事務總長、事務及局長ニ總裁ニ之ヲ指名ス

任期ハ一年トス、但シ再指名ヲ妨ケズ

第十八條 副總裁

第十九條 本規約ニ定ムル外、外局、構成、所屬、重要、職員、其、他、

事務局ニ關シ、必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第二十條 中央本部ニ中央協力會議ヲ附置ス

中央協力會議ニ議長ヲ置ク、議長ハ總裁ニ之ヲ指名ス、其、任

期ハ一年トス、但シ再指名ヲ妨ケズ

中央協力會議議員ハ總裁ニ之ヲ指名ス

第二十一條 總裁、副總裁、事務總長及中央協力會議議長ニ辭意
ヲ呈ス

第二十二條 都道府縣、市、區、町、村、其、他適當ナル地域ニ本會

ノ支所ヲ置キ、各協力會議ヲ附置ス

協力會議ニ議長ヲ置ク

支所ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム

支所ニ副總裁ニ之ヲ指名ス

第二十三條 中央協力會議、支所協力會議、任期ハ一年トス、但

一 所属團體ノ統制ニ關スル事項

二 各種國民運動團體ノ連絡調整ニ關スル事項

三 各種國民運動ノ推進ニ關スル事項

第七條 局長ハ總裁、副總裁及事務總長、令、承、所^{事務}掌理事項ヲ掌理ス

第八條 參事ハ事務總長、要請ニ應、之主要局務ニ參事ス

第九條 總務局ニ左ノ五部ヲ置ク

總	務	部
會	計	部
録	成	部
調	査	部
宣	傳	部

第十條 總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 庶務、文書、人事ニ關スル事項

二 各局部所掌事務ノ連絡調整ニ關スル事項

三 他局部ニ屬セサル事項

第十一條 會計部ニ於テハ會計經理ニ關スル事務ヲ掌ル

第十二條 録成部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民福利ノ奨励ニ關スル事項

二 國民思想ノ統一ニ關スル事項

三 國民ノ一般の録成ニ關スル事項

四 國防技術ノ録成ニ關スル事項

第十三條 調査部ニ於テハ諸調査ニ關スル事務ヲ掌ル

第十四條 宣傳部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民運動ノ普及宣傳ニ關スル事項

二 内外ノ情報蒐集ニ關スル事項

第十四條 國民運動局ニ在リ、四部ヲ置ク

地	方	部
戰	時	生
時	生	活
增	産	部
文	化	生
厚	生	部

第十五條 地方部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、各級支部ノ指導監督ニ關スル事項
- 二、町内會、町民會等ノ養成指導ニ關スル事項
- 三、協力會議ニ關スル事項
- 四、上邊及遠近ニ在ル民情査察ニ關スル事項
- 五、選舉刷新ニ關スル事項
- 六、后ノ庶務ニ關スル事項

第十六條 戰時生活部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、國民生活ノ指導刷新ニ關スル事項
- 二、國民生活相談所ニ關スル事項
- 三、貯蓄奨励運動ニ關スル事項

第十七條 増産部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、農林水産業ノ増産運動ニ關スル事項
- 二、重要産業ノ生産増進運動ニ關スル事項
- 三、勤勞運動ニ關スル事項

第十八條 文化厚生部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、文化運動ニ關スル事項
- 二、健民運動ニ關スル事項

第十九條 國民運動局ニ在リ、二局ヲ置ク

國	體	部
進	進	部

第二十條 國體部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、所屬團體ノ統制ニ關スル事項
- 二、各種國民運動團體ノ連絡調整ニ關スル事項
- 三、局ノ庶務ニ關スル事項

第二十一條 推進部ニ於テハ國民運動ノ推進ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十二條 部ニ部長、副部長及主事ヲ置ク

- 部長ハ上長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
- 副部長ハ部長ノ佐ケ部務ヲ處理ス
- 主事ハ上長ノ命ヲ承テ部務ヲ分掌ス
- 部長、副部長及主事ハ總裁之ヲ命ズ

第二十三條 部ニ部長及書記ヲ置ク

- 部長及書記ハ上長ノ指揮ヲ受テ事務ニ従事ス
- 部長及書記ハ事務總長之ヲ命ズ

第二十四條 局又ハ部ニ囑託ヲ置クコトヲ得

- 囑託ハ特定ノ事務ニ従事ス
- 囑託ハ事務總長之ヲ委嘱ス

第二十五條 部ニ班ヲ置クコトヲ得

- 班ノ各會所掌事項其ノ他班ニ關シ必要ナル事項ハ事務總長ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本規程ハ昭和十八年十月十五日ヨリ施行ス

現行大政翼賛會事務局職制ハ之ヲ廢止ス

四、大政翼賛會興亞總本部規程（昭和十八年五月二十六日）

第一條 大政翼賛會興亞總本部ハ大政翼賛會總裁ニ直屬シ大政翼賛運動規約ノ主旨一則リテ興亞運動ヲ行フ爲メノ事項ヲ掌ルモノトス

- 一、興亞理念ノ普及徹底
- 二、海外進出者ノ指導、斡旋及録成

三、在留大東亞諸民族ノ輔導

四、興亞諸關係ノ事業ノ調整及連絡

五、大東亞諸地域ニ於ケル興亞團體トノ連絡及提携

六、現地事情ノ紹介

七、現地事情ノ紹介ニ必要ナル参考資料ノ蒐集、調査及研究

第二條 興亞總本部ニ統理ヲ置キ總裁之ヲ指名ス

統理ハ事務ヲ統理ス

第三條 興亞總本部ニ顧問會ヲ置キ統理及興亞總本部顧問ヲ以テ組織ス

顧問會ハ興亞運動ニ關シ總裁ノ諮問ニ應ズ

興亞總本部顧問ハ總裁之ヲ奉命ス

第四條 興亞總本部ニ參與ヲ置キ總裁之ヲ指名ス

參與ハ興亞總本部ノ連絡ニ關シ統理ノ諮問ニ應ズ

第五條 興亞總本部ニ本部長ヲ置キ總裁之ヲ指名ス

本部長ハ統理ノ令ヲ承ケ興亞總本部ノ事務ヲ統括ス

第六條 興亞總本部ノ事務ヲ分承セシムル爲メ局ヲ置キ局長ヲ置ク

局長ハ總裁之ヲ指名ス

局長ハ上長ノ令ヲ承ケ所管ノ事項ヲ掌理ス

第七條 興亞總本部ニ協力會議ヲ附置ス

協力會議ニ關シ法律ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 興亞總本部ニ興亞運動ニ關スル各種ノ調査委員會ヲ置クコトヲ得

調査委員會ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 本規程ニ定ムルモノノ外、局ノ構成、所掌事項、職員其ノ他

興亞總本部ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 興亞總本部ノ役員ノ任期ハ一年トス

但シ再指名又ハ再奉命ヲ妨グズ

第十一條 本規程其、他與主總本部ニ關スル規定、制定及變更ハ總裁之ヲ求メ

第十二條 元大日本興亞同盟ノ會員、支那及南洋ニ此、際與主總本部ニ繼承ノ將來適當ニ培養スルニ、トス

五 大政翼贊會與主總本部職制

第一條 興主總本部ニ審議^煙並ニ左ノ二局ヲ置ク

總務局
實踐局

第二條 審議室ハ興主總本部職員、大政翼贊會事務局職員及關係官廳吏ヲ以テ構成スル審議室ハ部務、基本大綱、企畫立案審議

室

第三條 總務局ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一、庶務、文書、人事及會計ニ關スル事項
- 二、各局所管事項、連絡調整ニ關スル事項
- 三、慣例會、協力會議、調查手^會續^會ニ關スル事項
- 四、興主既念、普及、現地事情、紹介、刊行物ニ關スル事項
- 五、各局所管事項、綜合企畫ニ關スル事項
- 六、興主連絡、調査、研究ニ關スル事項
- 七、興主總本部ノ所管事項、一ノ地局ニ屬スル事項

第四條 總務局ニ左ノ四部ヲ置ク

總務部
宣傳部
會議部
調査部

第五條 總務部ニ於テハ、右ノ事項ヲ掌ル

- 一 庶務ニ關スル事項
- 二 文書ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 會計ニ關スル事項
- 五 會費、支部及連盟部ニ關スル事項
- 六 他ノ局、部ニ屬セザル事項

第六條 宣傳部ニ於テハ、右ノ事項ヲ掌ル

- 一 興亞理念ノ普及ニ關スル事項
- 二 現地事情ノ紹介ニ關スル事項
- 三 部報、雜誌其ノ他刊行物ニ關スル事項

第七條 會議部ニ於テハ、右ノ事項ヲ掌ル

- 一 協力會議ニ關スル事項
- 二 顧問會ニ關スル事項
- 三 其ノ他諸會議(調査委員會ヲ除ク)、開催ニ關スル事項

第八條 調査部ニ於テハ、右ノ事項ヲ掌ル

- 一 興亞運動ノ調査、研究ニ關スル事項
- 二 現地事情紹介ノ爲メ要ナル參考資料、蒐集、調査、研究ニ關スル事項
- 三 各局部所管事項ノ綜合企畫ニ關スル事項
- 四 各局部所管事項ノ連絡及調整ニ關スル事項
- 五 其ノ他特ニ命ゼラレタル事項ノ企畫ニ關スル事項

第九條 研究局ニ於テハ、右ノ事項ヲ掌ル

- 一 興亞調査研究團體並ニ興亞事業團體ノ事業ノ連絡及調整ニ關スル事項
- 二 大東亞諸地域ニ於テハ興亞團體ノ連絡及提揚ニ關スル事項
- 三 在留大東亞諸民族ノ輔導ニ關スル事項
- 四 ~~大東亞諸民族ノ教育及宗教ニ關スル事項~~

451

- 五、大東亞諸民族ノ厚生、社會事業其ノ他一般文化事業ニ關スル事項
- 六、海外進出者ノ訓練、鍊成ニ關スル事項
- 七、海外進出者ノ指導、斡旋ニ關スル事項
- 八、大東亞事情ノ相談ニ關スル事項

第十一條 實業部ニ於テハ左ノ三部並ニ興亞鍊成道場ヲ置キ興亞鍊成道場ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

事	業	部
輔	導	部
鍊	成	部

第十二條 事業部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一、興亞調查研究團體ノ連絡及調整ニ關スル事項
- 二、興亞事業團體連絡及調整ニ關スル事項
- 三、大東亞諸地域ニ於ケル興亞團體トノ連絡及提携ニ關スル事項
- 四、大東亞諸民族ノ教育及宗教ニ關スル事項
- 五、大東亞諸民族ノ厚生、社會事業其ノ他一般文化事業ニ關スル事項
- 六、海外進出者ノ指導、斡旋ニ關スル事項
- 七、大東亞事情相談ニ關スル事項

第十三條 輔導部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一、在留大東亞諸民族ノ輔導ニ關スル事項
- 二、大東亞諸民族ノ留日學生ノ輔導ニ關スル事項

第十四條 鍊成部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一、海外進出者ノ訓練、鍊成ニ關スル事項

第十五條 部ニ部長、副部長、主事、部員及書記ヲ置ク

第十六條 局又ハ部ニ屬託ヲ置キツノ得

附 則

本規程ハ昭和十八年十月二十五日ヨリ施行ス

現行大東亞委員會興亞本部改組ハ之ヲ廢止ス

六、大政翼賛會支部規程

第一條 都道府縣樺太、郡（支廳）長管轄區域ニ在リテハ其ノ區域以下同
ジ又ハ地方事務所管轄區域、市町村立郡及五大都市ノ區（以下單ニ
區ト稱ス）ニ大政翼賛會支部ヲ置ク但町村數寡ナル郡ニ在リテハ二
郡以上ノ區域ニ支部ヲ置クコトヲ得

第二條 支部ニ左ノ役員ヲ置ク但シ郡（地方事務所管轄區域）含ム以
下同ジ（市）五大都市ヲ除ク（區、町村）支部ニ顧問、參與ヲ置ク
場合ハ都道府縣樺太支部長ノ承認ヲ得ルヲ要ス

支 部 長 一 名

常 務 委 員 若 干 名

顧 問 若 干 名

參 與 若 干 名

都道府縣樺太及五大都市ノ支部ニ在リテハ常務委員、參與中夫
若干名ヲ常任ト爲スコトヲ得

第三條 支部ノ役員ハ都道府縣樺太支部長ニ在リテハ總裁之ヲ委嘱
シ其他ノ役員ニ在リテハ都道府縣樺太支部長ノ推薦ニ依リ總裁之
ヲ指名又ハ委嘱ス

役員ノ任期ハ一年トス但シ再指名又ハ再委嘱ヲ妨ゲズ

第四條 支部長ハ總裁及上級支部長ノ指揮ヲ受ケ支部ヲ統理ス

常務委員ハ支部長ヲ輔ケ支部ノ運営ニ參與ス

顧問ハ支部長ノ諮問ニ應ズ

參與ハ支部ノ企畫及活動ニ參與ス

第五條 町内會、町内會聯合會、部友會及隣保班並隣保班聯合組
織ニ世話役及世話人ヲ置キ本會ノ行ヲ指導ノ徹底ニ當ラシム
世話役ハ町内會長、町内會聯合會長、部友會長ヲ世話人ハ隣保班
ノ代表者、隣保班聯合組織ノ長ヲ以テ之ニ充テ
本條ニ定ムルモノノ外町内會、町内會聯合會、部友會及隣保班
指導ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 都道府縣樟太支部ニ協力委員ヲ置ク

協力委員ニ關シハ章ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 支部ニ其ノ事務ヲ處理スル爲メ事務局ヲ置ク

第八條 都道府縣樟太支部ノ事務局ニ庶務部及實踐部ヲ置ク

庶務部ハ庶務、録成、協力會議、宣傳其ノ他他部ニ屬セサル事項ヲ掌ル

實踐部ハ所内會部、落會等ノ育成指導、戰時生活ノ指導及勤勞増進、文化厚生等ニ關スル運動並各種國民運動團體ノ連絡統制ニ關スル事項ヲ掌ル

支部長ハ章ナリト認ムルトハ録成部ヲ置クコトヲ得

録成部ハ録成ニ關スル事項ヲ掌ル

事務局章ニ付ノハ地方ノ實情ニ依リ支部長ニ於テ適宜按配スルトヲ得

第九條 都道府縣樟太支部事務局ニ事務局長、部長、主事、部員及書記ヲ置ク

事務局長ハ支部長ノ命ヲ承ケ支部ノ事務ヲ掌理ス

部長ハ上長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

事務局長及部長ハ支部長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ指名ス

主事ハ上長ノ命ヲ承ケ部務ヲ分掌ス

部員及書記ハ上長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

主事、部員及書記ハ支部長之ヲ命ズ

第十條 前二條ノ規定ハ五大都市ノ支部事務局ニ之ヲ準用ス

第十一條 郡市（五大都市ヲ除ク）區支部事務局ニ事務長、部員及書記ヲ置ク

事務長ハ郡市（五大都市ヲ除ク）區支部長ノ命ヲ承ケ支部ノ事務ヲ掌理ス

部員及書記ハ上長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

事務長、科員及び書記ハ郡市（凡テ大都市ヲ除ク）區支部長、推薦ニ依リ郡道府縣樟太支部長ハ五大都市ニ在リテハ市支部長（之ヲ命ズ）

町村支部分務局ニ付置スル職員ヲ置ク

第十二條 支部ニ協力會議ヲ附置ス但シ市ハ五大都市ヲ除ク（區町村ノ協力會議ハ市區町村等々ヲ以テ之ニ充テ）

第十三條 協力會議ノ議員ハ其ノ区分ニ従ヒ左ノニ掲クル者ノ中ヨリ郡道府縣樟太支部長ノ推薦ニ依リ組織之ヲ増減スルハ無碍ス

一、郡道府縣樟太協力會議ニ在リテハ

イ、郡市區（郡ノ區）協力會議員但シ各郡市區（郡ノ區）ヨリサクトモ一名ヲ指名スルコトヲ要ス

ロ、各種團體代表者

ハ、郡議會議員又ハ道府縣會議會員

ニ、其ノ他適當ナル者

一、五大都市ノ市協力會議ニ在リテハ

イ、區協力會議員但シ各區ヨリサクトモ一名ヲ指名スルコトヲ要ス

ロ、各種團體代表者

ハ、市會議員

ニ、其ノ他適當ナル者

一、郡協力會議ニ在リテハ

イ、町村協力會議員但シ各町村ヨリサクトモ一名ヲ指名スルコトヲ要ス

ロ、各種團體代表者

ハ、其ノ他適當ナル者

第十四條 協力會議員ノ定數ハ郡道府縣樟太及五大都市ニ在リテハ

ハ三十五乃至八十五名トノ郡ニ在リテハ二十五乃至六十五名トス但シ

之町村數五十以上ノ郡ニ在リテハ七十五名迄之ヲ増スコトヲ得

第十九條 協力會議ノ議長ハ郡道府縣樟太支部長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ指名ス

第二十條 協力會議ハ支部長之ヲ招集ス

協力會議ハ年一回以上之ヲ開會ス

協力會議ノ會期ハ郡道府縣樟太協力會議ニ在リテハ三日以内トシ其

ノ他ノ協力會議ニ在リテハ二日以内トス但シ必要ニ應ジ延長スル

コトヲ得

第二十一條 支部ノ經費ハ本部補助金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條 樟太ニ於ケル支部ニ付テハ本規程ニ拘ラズ別段ノ規定ヲ

設ケルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和十八年十一月三日ヨリ之ヲ發施ス

現行大政翼賛會支部規程ハ之ヲ廢止ス

七、大政翼賛會支部規程樟太適用特例

大政翼賛會支部規程第十八條ノ規定ニ依リ大政翼賛會支部規程樟太適用特例左ノ通定ム

第一條 樟太支部ニ大政翼賛會支部規程第二條ノ役員ノ外副支部長

一名ヲ置ク

副支部長ハ支部長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ委嘱ス

副支部長ハ支部長ノ補佐ノ支部長事務アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第二條 樟太支部ノ役員ハ支部長及副支部長ヲ除クハ樟太支部事務

局長並ニ協力會議ノ議長及會議員ハ總裁名ヲ以テ樟太支部長之ヲ指

名スハ要ス

世帯振興世帯人々市町村支所長連名ヲ以テ之ヲ指名スハ要ス

支應支部及市支部ノ役員ハ樟太支部長、町村支部ノ役員ハ支應支

部長總裁名ヲ以テ之ヲ指名スハ要ス

世帯振興世帯人々市町村支所長總裁名ヲ以テ之ヲ指名ス

十二條 協同會諸員、二條六條六支弁ニ在リ、其ノ四十分以内トシ、支遣
支遣ニ在リ、其ノ二十分以内トシ、

第十三條 支遣支遣ニ在リ、其ノ四十分以内トシ、

支遣支遣ニ在リ、其ノ四十分以内トシ、

支遣支遣ニ在リ、其ノ四十分以内トシ、

第十四條 支遣支遣ニ在リ、其ノ四十分以内トシ、

附則

本條例ハ昭和十八年十一月二日ヨリ之ヲ實施ス

附 錄

八、大日本皇軍中其壯年團團中支不升職制

第一條 中支本部ニ本部員ヲ置ク

本部員、團長之ヲ令ス

本部員ハ團長、統制ノ下ニ職務ヲ總理ス

第二條 中支本部ニ左ノ三部ヲ置ク

統	務	部
指	導	部
報	道	部

第三條 統務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、産務、人財及兵器ニ關スル事項
- 二、會計、經理ニ關スル事項
- 三、部員、訓練ニ關スル事項
- 四、各部諸務事務、連絡、調整ニ關スル事項
- 五、大政翼賛會連ニ其ノ所屬團體トシテ連絡ニ關スル事項
- 六、統制ノ所屬營ニ屬スル事項

第百四條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

三、地方官の職務を、

第百五條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

第百六條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

三、地方官の職務を、

四、地方官の職務を、

五、地方官の職務を、

六、地方官の職務を、

第百七條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

第百八條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

第百九條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

第百十條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

第百十一條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

第百十二條 地方官は、その管轄する地方官の職務を、

一、地方官の職務を、

二、地方官の職務を、

451-
第十三條 必要ニ應ジ 中央本部ニ各種委員會又ハ臨時機關ヲ設クルヲ
得

附 則

本職制ハ昭和十八年十月二十一日ヨリ之ヲ施行ス
從來ノ本部職制ハ之ヲ廢止ス